

美味しく
なめらかで
食べやすい

にしかなない野菜「バターナッツかぼちゃ」を使った

「かぼちゃプリン」



にしかなない野菜とは
新潟市西蒲区で生産された「色や大きさ、形などに特徴のある珍しい野菜」をブランド化して販売しているものです。年間を通じて30品種ほどの野菜が生産されています。

【材料】(ココット5個分)

- ・かぼちゃ (正味) 80g
- ・砂糖 35g
- ・卵 2個
- ・牛乳 300g
- ・バニラエッセンス 適量
- ・あんこ お好み

【作り方】

1. かぼちゃは皮をむき、種とワタを取って、茹でるかレンジで柔らかくする。
2. 柔らかくしたかぼちゃ、砂糖、卵をフードプロセッサーにかける。
3. ②をボールに移し、牛乳とバニラエッセンスを加え混ぜる。
4. ③をこし器でこして、ココット型に流し入れる。
5. オーブンで湯煎焼き 160度で40~45分ほど
(※蒸し器の場合、強火で1分→蓋をずらし弱火で20分ほど)
6. 竹串をさして何もつかなければOK
7. 冷蔵庫で冷やす
8. お好みであんこやクリームをのせて完成

【今回の料理について】

巻総合高校の生徒さんが福祉の学びを活かして、飲み込む力や噛む力が低下しても美味しく食べられるような料理レシピを考案。今回は、西蒲区で生産された特色ある野菜を使い、当法人の管理栄養士と相談しながらレシピを完成。施設内でスイーツ行事を計画し、実際にご利用者の皆さんに食べていただきました。

【こだわりポイント】

食事形態関係なく、ご利用者の皆さんが同じものを食べられるように、食べやすい食感にこだわりました。バターナッツかぼちゃは、繊維質が少なくなめらかな食感が特徴です。地域の生産品をより身近に感じてほしいという思いもあり、バターナッツかぼちゃを使用しました。ご利用者への事前アンケートで「あんこが好きだ」という意見が多かったので、あんこに合うようにプリンは甘さ控えめに、身体にもやさしい味にしました。また、気軽に作ってもらえるよう、レシピはなるべく簡単にしました。オーブンを使い湯煎焼きを行うことで、より簡単になめらかな口あたりに仕上げることができますよ。

【編集後記】第十三号の発行を終えて



新しく広報委員となりました竹野です。彩りまきで介護員として働いています。以前、街で「knock見たよ、頑張ってるね」と声をかけられたことがありました。驚いたと同時に、この広報誌を通して法人の活動や取り組みが伝わっているんだと感じた瞬間でした。今回も盛りだくさんの内容となっています。これからも価値ある情報の提供と共有ができると嬉しいです。
法人広報委員 竹野加奈子



【まき福祉会広報誌・knock】発行日：2024年11月 広報に関するお問い合わせ先：TEL 0256-72-5531 HP <https://www.hakujuysou.jp>
発行元：まき福祉会 監修・編集：まき福祉会 広報委員会 アートディレクション・写真：ツムジグラフィカ 高橋トオル

ホームページQRコード



地域と法人をつなぐ専門部署
地域支援課

まき福祉社会が目指す

「安心・豊かな未来」の

カタチ



まき福祉社会は、令和3年に設立50周年を迎えました。その歴史を引き継ぎ、次のまき福祉社会へ歩みを進めているところです。法人のロゴマークには、新しい時代に向けた私たちのあるべき姿が込められています。地域を象徴する、巻を見守る角田山。その地域に広がる笑顔。その幸せは、自分たちが扉をひらくことから始まります。まず幸せになる。その幸せが笑顔をうみ、その笑顔が共にすごせる優しさをうみ、その優しさが集まって地域ができていく。私たちが目指す「安心・豊かな未来」のカタチです。

MAKI FUKUSHIKAI
地域とともに歩み、地域に愛される社会福祉法人に
そんな法人を目指して、まき福祉社会には地域と法人をつなぐ専門の部署があります！

それは、私たち【地域支援課】です！
地域支援課



法人と隣接する地域（赤館・グリーンハイツ・東6区）との連携を深めています。自治会との情報交換や防災協定の他、老人会との交流会や親睦旅行を行っています。また他の地域住民とも一緒に学べる趣味の講座や畑の活動など、様々なイベントを開催しています。

法人50年以上の歴史を支えてくれた【巻】を元気にしたい！地域活性化のお手伝いしたい！という思いで、地域で開催されている行事やイベントに参加しています。



近隣老人会との交流
「四つ葉のクローバー会」



近隣住民と一緒に「畑活動」



近隣住民を講師に迎えて
「そば打ち講習会」



新潟の夏は巻から始まる！
「まき夏祭り」に職員有志で参加



施設近隣で開催される
「駅南振興祭」に出店



地元越前浜「海岸清掃」
職員有志で参加



地元商店街で開催される
「多加良まつり」に出店



地域と法人をつなぐ専門部署が

「安心・豊かな未来へ創造しよう地域とともに」

【地域支援課】です



地域住民向け体操教室
「すまいる白寿」



新潟市専門職派遣事業



新潟市老人クラブ連合会



巻地区協議会女性の会

法人のリハビリ専門職が
地域で活躍しています！

法人内にはリハビリ専門職（理学療法士・作業療法士）が勤務しています。地域住民の健康増進、介護予防のために、様々な体操教室や健康づくりイベントを企画・開催しています。



理学療法士



作業療法士

リハビリ専門職



MAKI FUKUSHIKAI

地域支援課

地域の健康づくり

地域

地域の相談役

各専門職

社会福祉士 介護福祉士

管理栄養士

その他の専門職も活躍中！

まき福祉社会に所属している専門職は多岐にわたります。また、様々な特技を持った職員も大勢います。それぞれが持っている知識や特技を地域に還元し、「困ったときはまき福祉社会に相談してみよう。」そんな存在になれることを目指しています



年3回開催している
「介護教室」



地域のお茶の間で
「認知症講座」



管理栄養士による出前講座
「栄養とフレイル」



音楽の講師を迎えて
「うたごえ白寿」



地域のお茶の間と連携
「生活支援（買い物ツアー）」



社会福祉士による出前講座
「介護保険制度について」



「ノルディックウォーク
特別企画」
公認指導員の資格を
持った理学療法士の
指導付き！



「すまいる白寿」特別企画
夏休み大運動会

福祉・介護の
プロとして

地域の未来のために



1 福祉や介護、認知症について理解を深めてもらう活動

地域住民や将来を担う子供たちへ、福祉の仕事や介護について理解を深めてもらう活動をしています。「介護の仕事とはどういう仕事？大変なことや楽しいことは何？」…など、講座や職場体験を通じて、福祉に興味や関心をもってもらい、「将来、福祉の道へ進みたい。」と思ってくれる子供たちを育てていきたいと考えています。また、超高齢化社会を迎え、今後認知症高齢者の増加が予測されているなか、認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう、地域住民一人一人が認知症を正しく理解し、ともに過ごせる地域づくりが大切になってきます。私たちは、大好きな巻がそんな地域になれるよう、「認知症サポーター養成講座」を通じて、認知症への理解を深めてもらう活動もしています。

「医療と介護の出前スクール」



巻総合高校



松野尾小学校

「地域サークル活動」



巻東中学校

「認知症サポーター養成講座」



巻東中学校



巻西中学校



蒲原ガス(株)

私もこの講座をきっかけに福祉の道を目指しました！



特別養護老人ホーム
白寿荘西介護員
笹川 莉沙

2 介護の担い手を養成する、地域ボランティアさんとの連携を深める活動

いつまでも住み慣れた地域で暮らせるようになるには、行政の力だけではなく、私たち介護事業者、民間企業、そして地域住民などによる多様な力が必要です。自分たちが暮らす地域は自分たちでつくる。地域住民の潜在能力を引き出し、安心・豊かな地域をともにつくっていくことを目的に、地域で活躍できる介護の担い手の養成やボランティアさんとの連携を深めています。

「新潟市介護サービス担い手養成研修」



「ボランティアさんとの連携」



地域の担い手を育む



MAKI
FUKUSHIKAI

地域支援課



地域

地域を育む

3 巻総合高校との連携



巻総合高校は、新潟市内で唯一の総合学校で、普通科目から専門科目（農業・工業・商業・家庭）にわたり多くの科目を学ぶことができる高校です。巻総合高校が掲げている【地域連携と総合学科の特色を生かし、郷土を支える活力ある人材を育てる学校】というスクールミッションに共感し、ともに連携しながら地域の大切な人材を育てていけたらと考えています。

野菜・果樹・草花の販売

農業を専攻している学生さんが、授業で育てた野菜や果樹、草花の販売に来てくださいます。地域の方は、毎回新鮮な野菜やきれいな草花をたくさん購入し、大変喜ばれています。品物を購入できる喜びだけでなく、「はつらつとした若者とお話ができるだけでも元気になるわ。」という声も聞かれます。学生さんもこの販売を通して地域交流の機会になっているようです。



生活文化系列3年生による「課題研究」への協力

巻総合高校には、「課題研究」という科目があり、生徒一人一人が課題を設定し、地域と連携してその研究を遂行しながら学びを深めています。まき福祉会では、この「課題研究」に協力しており、毎年いろいろな課題を学習する生徒さんご利用者とのふれあひも楽しみにしています。

① アクセサリー作り

和泉澤くるみさん・速藤舞央さん

高齢者でも使える「アクセサリーの研究」として、ネックレス、ブレスレットの制作を職員と考えながら行いました。試行錯誤を繰り返す中で、ネックレス、ブレスレットの強度や材料が調達できなかったため、より日常使用のできるカチューシャとヘアピンに変更して作っていただきました。受け取ったご利用者は大変喜ばれ、外出時や行事に参加される際に身に付けていらっしゃいます。学生ならではのかわいらしく素敵な作品を作っていただきました。



② 高齢者が食べやすい「八宝菜」レシピの考案

高橋真優さん

高齢者でも食べやすい「八宝菜」のレシピを、管理栄養士の助言を受けて考案してくれました。打ち合わせから何度も試作を重ね、ようやく完成したレシピをもとに、実際に厨房スタッフに調理していただき、特別養護老人ホーム白寿荘西のご利用者に提供させていただきました。



③ 高齢者が楽しめるレクリエーション

伊藤梓さん、小川純佳さん、田邊華乃さん、長谷川陽輝さん

まき福祉会のサービスをご利用している高齢者に「体の痛みについてアンケート」を実施。その結果をもとに、4人が高齢者が楽しめるレクリエーションを考案してきてくれました。実際に、通所サービス「ハッピーガーデン」のご利用者に体験していただき、みなさんと一緒に楽しい時間を過ごしました。



私たちの活動にご興味のある方はぜひLINEを覗いてみてください♪

QRコードを読み取りまたは@179wtrhnでID検索



法人からのお知らせ



新住所：新潟市西蒲区巻甲 5465 番地 4

1. 就労継続支援 B 型事業所ピース

ヘルパーステーションまるっとまきが移転しました

先回の広報誌でもお知らせしましたが、令和 6 年 12 月 1 日より、就労継続支援 B 型事業所ピースおよびヘルパーステーションまるっとまきの事務所が下記住所に移転しました。ピースのご利用者は、より快適に作業できる環境が整い、ヘルパーステーションまるっとまきのスタッフもスムーズに業務ができるようになりました。また、障がい福祉サービスと在宅介護サービスが同じ建物になったことで、すぐに情報共有ができるようになりました。さらなるサービスの質の向上のため、より連携を深めていきたいと思ひます。

2. 近隣3自治会（赤舘・グリーンハイツ・東6区）との防災協定の取り組み

当法人は、近隣3自治会（赤舘・グリーンハイツ・東6区）と、災害時の防災協定を結んでいます。近年、様々な災害が発生しており、それぞれの立場で防災の意識も高まっています。

① 10月6日（日）、グリーンハイツ自治会の防災訓練を見学させていただきました。

グリーンハイツ自治会は、平成 21 年に自治防災会を立ち上げ防災訓練などに取り組んでおり、新潟市のマニュアルに基づき独自の「避難計画」を策定し、避難訓練を実施しているそうです。「避難計画」では、災害直後の安全を確保するため、白寿荘東駐車場内にある東屋広場を「一時避難所」と定めており、当法人の防災委員メンバーも、一時避難所からグリーンハイツの指定避難所である「巻地域保健福祉センター」への避難の様子を見学させていただきました。有事の際には、お互いに協力できる体制を整えていきたいと考えています。



② 11月18日（月）、3地区との合同防災訓練を開催しました。

今年度も、各自治会の会長さんをはじめ防災担当者、民生委員さんなどが集まり、合同防災訓練として勉強会を行いました。青柳防災士さんによる勉強会の後、グリーンハイツ赤川自治会長さんからは自治防災訓練の報告、まき福祉会からは防災委員長の矢貴より能登半島地震のDWT派遣について報告がありました。



3. 職員互助会主催のボウリング大会&懇親会が開催されました

職員互助会は、働きやすい職場作りのために、職員相互の福利厚生や親睦を図ることを目的としています。10月26日（土）、職員互助会主催のボウリング大会&懇親会が開催されました。ボウリング大会は、弥彦ラビットボウルにて行われ、職員とその家族 37 名が参加。笑いが絶えない中、白熱した勝負が繰り広げられました！また、ボウリング大会の後には親睦会も行われ、新人職員からベテラン職員まで、年齢や事業所を超えて交流することができました。



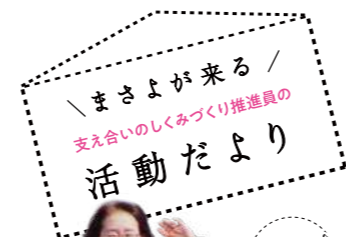
～ボウリング大会結果～

【個人戦】

- 1位 熊倉はるか（白寿荘東）
- 2位 大滝雅一（本部）
- 3位 渡邊賢一（ピース）

【チーム対抗】

- 1位 5グループ（枝村親子・熊倉）
- 2位 6グループ（大滝・渡邊・亀井親子）
- 3位 4グループ（星野・佐藤健一・庭野・石川）



「まき圏域 支え合いMAP」を作成しました！

私の担当地域である巻圏域（旧巻町エリア）で、住民が主体になって活動している会を紹介する、「まき圏域支え合いMAP 令和6年度版」を作ってみました！子どもからお年寄りまで誰もが参加できる居場所、住民同士の助け合い、子育ての応援、子どもだけでなく大人も行ける低料金の食堂（居場所）などを紹介しています。巻圏域でこんなに多くの素晴らしい活動が生まれていることを、より多くの人に知ってもらいたいと思ひ地図にしてみました。

このマップで紹介した活動について詳しく知りたい方やマップが欲しい方は、阿部までご連絡ください。
*ポスターサイズ（42cm×60cm）とA3（29.5cm×42cm）サイズがあります。

TEL 070-4461-3508 巻圏域支え合いの仕組みづくり推進員 阿部昌代

5. 子育て応援サロン

- ① 子育てひろば「ハートツリー」（巻中央コミュニティセンター）
- ② 子育て応援サロン「トレジャーボックス」（西蒲区巻甲408）

4. こども食堂

- ① まきハレルヤ食堂（巻キリスト協会）
- ② makikids&Rest（山本工務店ショールーム）
- ③ スマイル子ども食堂（巻中央コミュニティセンター）
- ④ うるしやまくらっ子ファミリー食堂（巻山公園）
- ⑤ ハレノヒ青空子ども食堂（上環湖公園ヤギ広場）

3. お茶の間・サロン

- ① みんなの家 峰岡（巻自治会集会所）
- ② みんなの家 福井（巻自治会集会所）
- ③ 愛宕の家サロン（巻1区自治会集会所の家）
- ④ 生き生きグリーンサロン（グリーン会館）
- ⑤ うたごえJOYFUL（巻地区公民館）
- ⑥ 楽しい体操角田浜（巻生荘）
- ⑦ かわちゃんひろば（巻山公園・河村一平宅）
- ⑧ 新月の茶の間（新月会館）
- ⑨ お茶の間サロンいるりっこ（巻5区伊勢）
- ⑩ お茶の間サロンいるり（巻5区伊勢）
- ⑪ 馬場中組のお茶の間（巻中組集会所）
- ⑫ 漆山動く茶の間1の丁（巻山中央集会所）
- ⑬ 漆山動く茶の間4の丁（巻山中央集会所）
- ⑭ 漆山動く茶の間7の丁（巻ふれあいセンター）
- ⑮ 東6区茶の間「い〜なほっど」（いなほの会）
- ⑯ 地域の茶の間はればれば（巻町集会所）

2. 地域の茶の間

- ① 「にしかんの茶の間」（西蒲区巻甲666）
- ② 「やすらぎの家」（巻ふれあいセンター 巻新5043）
- ③ 「十三輪（とみわ）の家」（巻13区集会所巻甲1447-4）
- ④ 「松野尾の茶の間」（松野尾地区コミュニティセンター）
- ⑤ marugo-to（まるごと）（セブンイレブン巻野尾店の裏のビニールハウス）
- ⑥ カフェかくだ山ビニールハウスの居場所「marugo-to（まるごと）」

はたらく

～次世代を担うリーダーたち～

今回はまき福祉会の次世代を担っていくリーダー達を紹介し
ます! 230名程いる職員の中で主任、リーダーの役職に就
いている職員は40名程います。これからの法人にとってとても
重要な役割を担う彼女らにスポットを当ててみました!

- ①氏名: 保莉 俊則
- ②事業所名: 特別養護老人ホーム 白寿荘東
リーダー介護員
- ③勤務年数: 13年
- ④主任・リーダー年数: 5年



Q1. リーダー、主任になった時の気持ち、思いは?

不安よりも、「よしやってやろう」という気持ちが強かったです。もともと一緒だったリーダーがよくまとめてくれたので、最初からやりやすかったです。当時の現場は活気や明るさで溢れていて、優しく丁寧なケアを行っている職員がたくさんおり、このメンバーで他の施設に負けない組織を作っていきたいという強い気持ちを持ちました。

Q2. リーダー、主任として意識していることは?

- ・当たり前を大切に、挨拶・体調管理・時間厳守等、社会人としてのマナーやルールを守り、手本となるように意識しています。
- ・入居者の方々に一日一日を安心して楽しく過ごしてもらえるように、ユニットの職員一人一人の長所、得意な事等を上手く引き出し、入居者のケアにつなげていきたいと考えています。
- ・職員一人一人の意見、話をしっかり聞く事。一つのチームとして仲間意識をしっかり持つことを意識しています。
- ・将来職員となるベトナム人留学生2人がアルバイトとして働いているので、2人の育成を他のリーダーと相談、連携をとりながら若くて将来性のある人達の人材育成について意識を高く持って取り組んでいます。

Q3. 未来に向けて、今後のまき福祉会をどうしていきたい?

- ・「まき福祉会を選んでよかった」と思われるように、一つ一つの仕事と出会いを大切に信頼される施設を作りたいです。
- ・地域と一体となりながら、巻を盛り上げていけたらと思います。イベント参加が好きなので、地域行事に今まで以上に積極的に参加し、まき福祉会が主体となってイベントを行うなど、地域に恩返ししていきたいです。



- ①氏名: 遠藤 夕美
- ②事業所名: 特別養護老人ホーム 白寿荘西 主任看護師
- ③勤務年数: 23年
- ④主任・リーダー年数: 15年

Q1. リーダー、主任になった時の気持ち、思いは?

部署内で最年少であったため、「他の先輩たちが適任なのではないか?」と感じ、上司に伝えたのを覚えています。反面、年齢に関係なく上下関係というよりはそれぞれの不足を補い、チームとして働いていけるように頑張ってみようという気持ちになりました。

Q2. リーダー、主任として意識していることは?

- ・同部署内はもちろんですが、『利用者・家族にとって安心して過ごしてもらえる場所』である事を意識して、他の職種とそれぞれの役割を果たしつつ、サービスを提供するために1つのチームとなり働くことを考え行動しています。
- ・職員一人一人のことを大切に想い気にかけています。声をかけた時に、顔色や表情、声の調子などがいつもと違うと、より気にかけるように配慮したり、話を聞いたりしています。ご利用者と同じように、職員の体調変化にも気付けるようにしています。
- ・コミュニケーションを積極的にとり、関係性の構築を意識しています。
- ・職員だけでなく、利用者、家族が安心できるよう看護職としての関わりを大切にしています。特に家族は、医療面においていろんな不安を抱えながら施設に任せてくれると思うので、その不安を少しでも解消できるよう配慮しています。

Q3. 未来に向けて、今後のまき福祉会をどうしていきたい?

活気あふれる「まき福祉会」であり、地域の方から信頼され、頼られる法人になりたいと思います。特養だとできることは限られてしまうこともありますが、その中でも利用者のニーズ、家族のニーズを大事にして、常に最善を尽くしたいと思っています。それが地域の方から信頼される施設になるということに繋がっていくと思っています。

☆☆職員の『推し』自慢☆☆

今回から始めた新コーナーです。今回は推しペットを紹介します♪♪

佐藤 健一 (七浦の里)

- ・柴犬
- ・名前: もふ / メス 10歳
- ・飼うきっかけ:
娘にお願いされて飼いました。

頼んでないのに、お手をしてくる所が可愛いです。まったく吠えないので、鳴き声は寝言でしか聞けません。大人しくてとてもいい子です。



神田 綾子 (地域支援課)

- ・ヒョウモントカゲモドキ
(別名: レオパードゲッコー)
- ・名前: ハビちゃん / オス 6ヶ月 (11月現在)
- ・飼うきっかけ: 幼い頃から動物全般大好きで、実家では猫を飼っていました。

娘と私の強い意向で今年の6月にお迎えしました。はびちゃんは首のハートマークとくりくりした目がチャームポイントです♪その名のおりトカゲではなく、イモリの仲間なんです。毎日癒されています♡





①氏名：笹川 純詩
 ②事業所名：小規模多機能型居宅介護事業所 彩りまき リーダー介護員
 ③勤務年数：22年
 ④主任・リーダー年数：12年

Q1. リーダー、主任になった時の気持ち、思いは？

自分より経験年数が長い方や年上の方々がいる中で自分より適任の方がいるのではないかという思いと、自分に務まるか不安がありました。しかし、受けると決めた以上は出来る事を精一杯やろうという気持ちにもなりました。

Q2. リーダー、主任として意識していることは？

- ・他職員とのコミュニケーションを取り、他愛のない会話の中からその職員の体調や悩み等を聞き取るようにしています。
- ・介護技術的な部分では見本になるように努め、これまで自分がしてきたことの確認をしながら、経験した事、技術などを伝えるようにしています。
- ・彩りは小さい事業所ですが、上司と介護職員とのつなぎ役になれるようにしています。

Q3. 未来に向けて、今後のまき福祉会をどうしていきたい？

地域の方々との繋がりを大事にして、地域を盛り上げていければと思っています。また、地域の方々から協力をさせていただく中で、他事業所とも連携を取りながら西蒲区の福祉拠点となれるよう、「介護の事は、まき福祉会に任せれば安心していられる」と思ってもらえるようにしていきたいです。

本間祥希（白寿荘東）

- ・猫
- ・名前：こはく / オス 9歳
- ・飼うきっかけ：親の知り合いから生まれたばかりの赤ちゃんをもらいました

もともと好きというわけではなかったのですが、飼い始めてお世話をするうちに好きになっていきました。猫じゃらしを上に投げると走走なしで2メートルくらいの高さまで飛びます。基本的に家の中にいますが、ときどき一緒に散歩に出かけています。仰向けで寝ている姿がとてもかわいく、顔をうずめるとふわふわで気持ちがいいです。



①氏名：高杉直美
 ②事業所名：小規模多機能型居宅介護事業所 七浦の里 リーダー介護員
 ③勤務年数：13年
 ④主任・リーダー年数：6年

Q1. リーダー、主任になった時の気持ち、思いは？

管理者から、新しく立ち上げる事業所のリーダーをしてほしいと話がありました。小規模多機能型の職員の経験はありましたが、自分がリーダーとして務まるのか、職員をまとめることができるのかと、心配・不安になりました。でも新しい事業所の準備が進み、職員とどんな事業所にしていくかなど話をしていくうちに、自分ができる事をやるべきことを精一杯やろうと気持ちを切り替え、リーダーとしてやりがいや責任を持つことができました。

Q2. リーダー、主任として意識していることは？

- ・ご利用者やご家族が、いつまでも住み慣れた地域で幸せに暮らせるように支援していくことです。
- ・ご利用者が和やかで楽しく過ごせるような雰囲気作りを心がけています。
- ・職員から相談や意見、悩み事等を遠慮なく言えて頼りになる存在でいたいと思っています。
- ・職員が安心して働くことができる職場づくりをしていきたいです。

Q3. 未来に向けて、今後のまき福祉会をどうしていきたい？

- ・地域の皆様のおかげで、行事に参加したり事業所にお越しいただいたり、交流を持つことができます。これからも地域の方々との関わりを大切にし、「まき福祉会があって安心だ」「まき福祉会を利用してみたい」と思ってもらえる、信頼される事業所にしていきたいと思っています。
- ・ご利用者、ご家族一人一人のニーズに合ったケアしていくために、職員それぞれが知識や技術の向上を行い、質の高いケアをしていきたいです。

まき福祉会には「採用公式 LINE」があります!



友達追加していただくと・・・

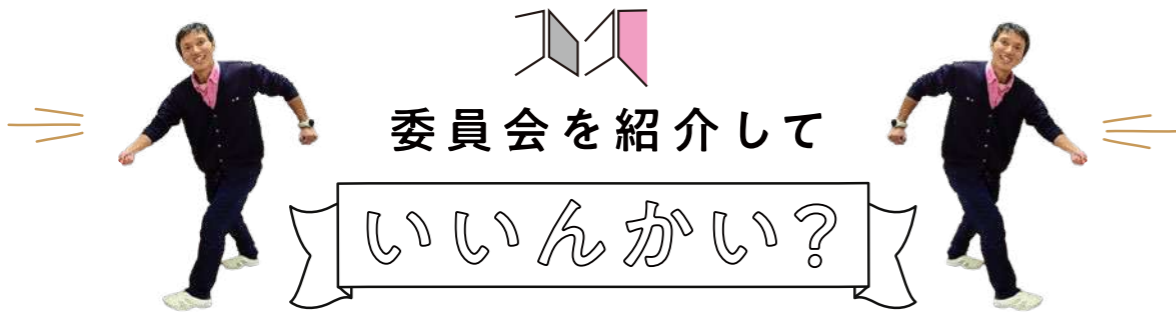
- ・まき福祉会の法人理念や各事業所について詳しく知ることができます。
- ・求人担当者と直接やり取りができます。
- ・施設見学や求人の応募もLINE上で完結できるようになっています。
- ・その他、先輩インタビューなどのコンテンツが盛りだくさん！ぜひ気軽に覗いてみてください☆

特集ページでご案内した「地域支援課公式LINE」もありますので、そちらも覗いてみてください



ID : @737xbxoh

施設見学随時実施中!
お気軽にお問合せください
 法人本部採用担当：阿部・大杉
 Tel : 0256-72-5531
 Mail : info01@hakujyusou.jp



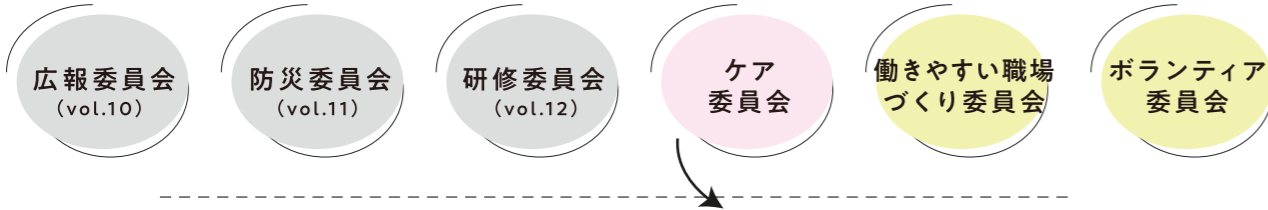
委員会を紹介して

いいんかい?

まき福祉会には、法人組織の中に6つの委員会があります。

それぞれの委員会では法人の未来がより良くなるように取り組みを進めています。

4回目となったこの企画、今回は「法人研修委員会」からバトンタッチを受けた「法人ケア委員会」を紹介したいと思います。



第4回目は、『法人ケア委員会』の活動紹介です。

●法人ケア委員会の目的



ご利用者へのケアの質を高め、課題や悩みなどを解決する

全職員がご利用者の生活、価値観を尊重したケアを提供できるよう知識、技術の向上を図る事、また様々な介護に関する課題、悩みなどを事例検討などを通じて解決できるようにする事などを目的としています。



【主な取り組み】

- 各事業所のケアの取り組みなどを共有する事で、より質の高いケアの提供につなげていきます。
- 研修の企画、実施を行う事で新しい知識、技術へのアップデートを行っています。
- 法人内のケアの振り返り、自己点検などを行い、サービスの質の向上、不適切なケアの防止などを行っています。

今年の5月から、「法人認知症ケア委員会」改め、「法人ケア委員会」になりました。今までは、認知症ケアに特化して、各事業所から集まった委員のメンバーで事例検討や研修会を行い、法人内の認知症ケアの質の向上や、地域での認知症ケアの啓発活動に努めて活動していました。しかし、認知症ケアだけでなく、より広い範囲でのケアの質の向上を目的として、名称を変更し、委員のメンバーも新たに活動しています。ご利用者への言葉遣いや対応はどうか、要望や苦情はきちんと拾い上げられているか、ご利用者やご家族が望む生活ができているか、適宜ご家族への報告、説明がされているかなど、委員会で取り上げなければならないことは多岐にわたります。現在は、法人ケア委員会主催の研修を開催するため、法人内の現況把握と課題を抽出しているところです。



次回は働きやすい職場づくり委員会です!委員長へバトンタッチ

まき福祉会☆全事業所 News 放送局



<https://www.hakujyusou.jp/>

今お伝えしたい、法人内の各事業所のニュース・トピックスをお届けします。また、各事業所の日常の様子がブログにもアップされていますので、ぜひご覧ください。

白寿荘東

おかげさまで、新築移転をして2年が経ちました。ICT化の整備、介護リフト、眠りスキャンの導入等で、ご利用者と職員が共にストレスレスな生活を送ることができております。外部の皆さんから関心を頂いており、地域住民や関係各所からの見学の問い合わせも増えています。いつでも見学受付しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

担当:山本・亀井0256-72-5531



白寿荘西・ケアハウス 白寿荘西

10月から11月にかけて、特養・ケアハウスともに、上堰潟公園のわらアートや弥彦方面に紅葉狩りや菊祭りに出かけてきました。これまで、外出を企画すると感染症が出てしまい中止になってしまうなど、思うように実施できませんでしたが、今年は天候にも恵まれ、出かけてきたご利用者は大変喜ばれていました。これからも外出の機会を定期的に作り、思い出作りを行っていききたいと思います。

担当:樋山・尾暮 0256-72-1077



ケアプランセンター 白寿荘

12月より、居宅介護支援事業所の事務所が白寿荘西に移転し、名称も「ケアプランセンター白寿荘」に変更となりました。主任ケアマネも2人に増え、これまで以上に他事業所との連携を深め、地域の皆様に貢献していきたいと思っています。皆様が生き生きと生活できるよう、お手伝いさせていただきます。お気軽にご相談ください。

担当:丹羽・千鳥・吉岡 0256-77-5261



まるっとまき (ヘルパーステーション)

まるっとまきは12月より白寿荘西4階から水倉組様の裏の事業所へ移転します。もっと身近でスピーディーな対応が提供できると思っております。近くへ来た際はぜひお立ち寄りください。また、職員も現在17名在籍しております。訪問介護の使い方や、利用料金など些細な事でも構いませんので、遠慮なくお問い合わせください。

担当:本田 0256-77-5310



七浦の里 (小規模多機能)

10月、11月にかけて、紅葉ドライブをしながら外出に出掛けています。やっぱりお寿司や天ぷらが人気ですが、寒くなってきたのでラーメンのリクエストも多いです。みんな元気に食欲の秋を満喫しています!

担当:佐藤 0256-77-2227



彩りまき (小規模多機能)

7月に新しく笹川介護リーダー(「はたらく」ページに掲載)を迎え数ヶ月がたち、少しずつですが職員の足並みも揃ってきました。同じ目標を持ち「お互いを自然に補い合えるチーム」を目指して頑張ってます!今年度も残りわずかとなりましたが、ご利用者が楽しめるイベントを企画しています。どうぞお楽しみに!

担当:枝村 0256-78-8831



ピース (就労継続支援 B型事業所)

角田浜・越前浜で行われた「浜めぐり」と巻商店街で行われた「多加良まつり」で苔玉を販売しました。ご利用者が販売業務を行い、2日間とも多くの方に苔玉をみていただきました。

担当:渡邊・菊田 0256-78-7911



ハッピーガーデン (通所型基準緩和サービス)

11/19 秋の外出で寺泊へ行ってきました。「ときみーて」で朱鷺を見学後「きんばちの湯波の華」で昼食を食べ、「魚のアメ横」でショッピングを楽しんできました! 次回のお出かけを楽しみに、普段の体操を頑張って体力向上に努めましょう!

担当:星野・神田 0256-72-5531



